

## 72 悪性神経膠腫

※ レジメン名称を [クリック](#) または [Ctrl](#) + [クリック](#) してください。該当ページに移動します。

※ 印刷時は、[“現在のページを印刷する”](#) を選んでください。

	分類	コード	レジメン名称	備考
1	科別	72001-1B	<a href="#">テモゾロミド静注療法(再発・2クール目以降)</a>	
2	科別	72002-1B	<a href="#">ベバシズマブ静注療法(10mg/kg)</a>	
3	科別	72002-2B	<a href="#">ベバシズマブ静注療法(15mg/kg)</a>	
4	科別	72003-1B	<a href="#">TMZ(内服)+BV+RT</a>	
5	科別	72003-2B	<a href="#">TMZ(点滴)+BV+RT</a>	
6	科別	72004-1B	<a href="#">TMZ(内服)+BV(維持療法期)</a>	
7	科別	72004-2B	<a href="#">TMZ(点滴)+BV(維持療法期 初回)</a>	
8	科別	72004-3B	<a href="#">TMZ(点滴)+BV(維持療法期 2クール目以降)</a>	



72002

悪性神経膠腫

ベバシズマブ静注療法

申請科

脳外

H25.11 登録 H28.1 改訂 H30.10 改訂 科別(脳外科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
アバステン (Bevacizumab)	10mg/kg/day 又は 15mg/kg/day	div.(初回90分、2回目 60分、以後30分;忍容 性見ながら)	day1
<p>10mg/kg は 2 週間間隔、15mg/kg は 3 週間間隔            病性進行又は許容できない毒性の発現まで投与を継続            テモゾロミド併用療法の単剤療法期として使用する場合は 15mg/kg は 3 週間間隔を使用する            化療ベット予約:1 時間で登録</p>			
Regimen			
点滴 5分	day1 メイン①生理食塩液 50mL	1B	
※ 90分 60分 30分	側①生理食塩液 100mL アバステン ( )mg	1B	
5分	側②生理食塩液 50mL	1B	
<p><b>備 考</b></p> <p>※ アバステンの投与時間;初回は 90 分かけて点滴静注し、忍容性を見ながら、2 回目 60 分、以後 30 分とする。</p> <p><b>【レジメンシステム登録】</b>            72002-1B ベバシズマブ静注療法            (10mg/kg)            ・アバステン投与時間 90 分で登録            72002-2B ベバシズマブ静注療法            (15mg/kg)            ・アバステン投与時間 90 分で登録</p>			

72003

悪性神経膠腫

TMZ+BV+RT

申請科

脳外

H27.2 登録 H28.1 改訂 H30.10 改訂 科別(脳外科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
アバスタチン (Bevacizumab)	10mg/kg/day	div.(初回 90分、2回目 60分、以後 30分; 忍容 性見ながら)	day1、15、29、42
テモダール (Temozolomide)	75mg/m <sup>2</sup> /day	p.o 又は div.	day1~42
放射線併用期、維持療法期、単剤療法期の3種類で1レジメンとして承認(単剤療法期は72002-2Bベバ シズマブ静注療法(15mg/kg)を使用する)			
放射線併用期70日(放射線療法終了日の翌日から4週間休薬)			
放射線:1日2Gy×週5日、総線量60Gy(2Gy×30回)			
テモダールは放射線療法の初日から最終日まで連日投与する(放射線療法の終了が延期される場合は 最大49日継続投与可能) (TMZ 内服の場合)化療ベット予約:1時間で登録			
Regimen			
内服	テモダールを内服で行う場合 day1~42 テモダール ( )mg 1日1回 空腹時に内服 day1、15、29、42	5分 90分	day2~14、16~28、30~41 メイン①生理食塩液 50mL 1B 側①生理食塩液 250mL 1B 蒸留水 500mL 1B テモダール( )mg ※蒸留水はテモダール溶解用 ※テモダール1Vにつき蒸留水 41mL で溶解し、必要量抜き取る (溶解後 2.5mg/mL)
5分 ※	メイン①生理食塩液 50mL 1B 側①生理食塩液 100mL 1B アバスタチン ( )mg		
5分	側②生理食塩液 50mL 1B	5分	側②生理食塩液 50mL 1B
	テモダールを点滴で行う場合 day1、15、29、42		
15分	メイン①生理食塩液 50mL 1B アロキシ0.75mg 1V		備 考
5分 90分	メイン②生理食塩液 50mL 1B 側①生理食塩液 250mL 1B 蒸留水 500mL 1B テモダール( )mg ※蒸留水はテモダール溶解用 ※テモダール1Vにつき蒸留水 41mL で溶解し、必要量抜き取る (溶解後 2.5mg/mL)		※ アバスタチンの投与時間;初回は 90 分かけて 点滴静注し、忍容性を見ながら、2 回目 60 分、以後 30分とする。 (注意) 悪性神経膠腫の場合、ベタメタゾンをほぼ全例に 投与しているため、制吐剤としてのステロイドをレ ジメンに含めない。ベタメタゾンを投与していない 場合は、デキサメタゾンの追加を考慮すること。
5分 ※	側②生理食塩液 50mL 1B 側③生理食塩液 100mL 1B アバスタチン ( )mg		【レジメンシステム登録】 アバスタチン投与時間:90分で登録
5分	側④生理食塩液 50mL 1B		72003-1B TMZ(内服)+BV+RT ・テモダール CP は内服処方オーダー 72003-2B TMZ(点滴)+BV+RT

72004

悪性神経膠腫

TMZ+BV(維持療法期)

申請科

脳外

H27.2 登録 H28.1 改訂 H30.10 改訂 科別(脳外科)

薬品名	1回投与量	投与経路・時間	投与方法(1クール)
アバスタチン (Bevacizumab)	10mg/kg/day	div.(初回 90 分、2 回目 60 分、以後 30 分; 忍容性見ながら)	day1、15
テモダール (Temozolomide)	1クール目 150mg/m <sup>2</sup> /day 2クール目以降 150~200mg/m <sup>2</sup> /day	p.o 又は div.	day1~5 23日間休薬
放射線併用期、維持療法期、単剤療法期の3種類で1レジメンとして承認(単剤療法期は 72002-2B ベ バシズマブ静注療法(15mg/kg)を使用する) 1クール28日(6クール) (TMZ 内服の場合)化療ベット予約:1 時間で登録			
Regimen			
内服	テモダールを内服で行う場合 day1~5 テモダール ( )mg 1日1回 空腹時に内服 day1、15	5分 90分	day2~5 メイン①生理食塩液 50mL 1B 側①生理食塩液 250mL 1B 蒸留水 500mL 1B テモダール( )mg ※蒸留水はテモダール溶解用 ※テモダール1Vにつき蒸留水 41mL で溶解し、必要量抜き取る (溶解後 2.5mg/mL)
5分 ※	メイン①生理食塩液 50mL 1B 側①生理食塩液 100mL 1B アバスタチン ( )mg	5分	側②生理食塩液 50mL 1B
5分	側②生理食塩液 50mL 1B	5分	day15 メイン①生理食塩液 50mL 1B ※ 側①生理食塩液 100mL 1B アバスタチン ( )mg 5分 側②生理食塩液 50mL 1B
15分	テモダールを点滴で行う場合 day1 メイン①生理食塩液 50mL 1B アロキシ0.75mg 1V	5分 ※	5分 側②生理食塩液 50mL 1B
5分 90分	メイン②生理食塩液 50mL 1B 側①生理食塩液 250mL 1B 蒸留水 500mL 1B テモダール( )mg ※蒸留水はテモダール溶解用 ※テモダール1Vにつき蒸留水 41mL で溶解し、必要量抜き取る (溶解後 2.5mg/mL)	備 考	
5分 ※	側②生理食塩液 50mL 1B 側③生理食塩液 100mL 1B アバスタチン ( )mg	※ アバスタチンの投与時間;初回は 90 分かけて 点滴静注し、忍容性を見ながら、2 回目 60 分、以後 30 分とする。 (注意) 悪性神経膠腫の場合、ベタメタゾンをほぼ全例に 投与しているため、制吐剤としてのステロイドをレ ジメンに含めない。ベタメタゾンを投与していない 場合は、デキサメタゾンの追加を考慮すること。 【レジメンシステム登録】 アバスタチン投与時間:90 分で登録 72004-1B TMZ(内服)+BV(維持療法期) ・テモダール CP は内服処方オーダー 72004-2B TMZ(点滴)+BV(維持療法期 初回) 72004-3B TMZ(点滴)+ BV(維持療法期 2 クー ル目以降) ・テモダール注は 200mg/m <sup>2</sup> で登録	
5分	側④生理食塩液 50mL 1B		